

かえる通信 8

八浜中

10月22日

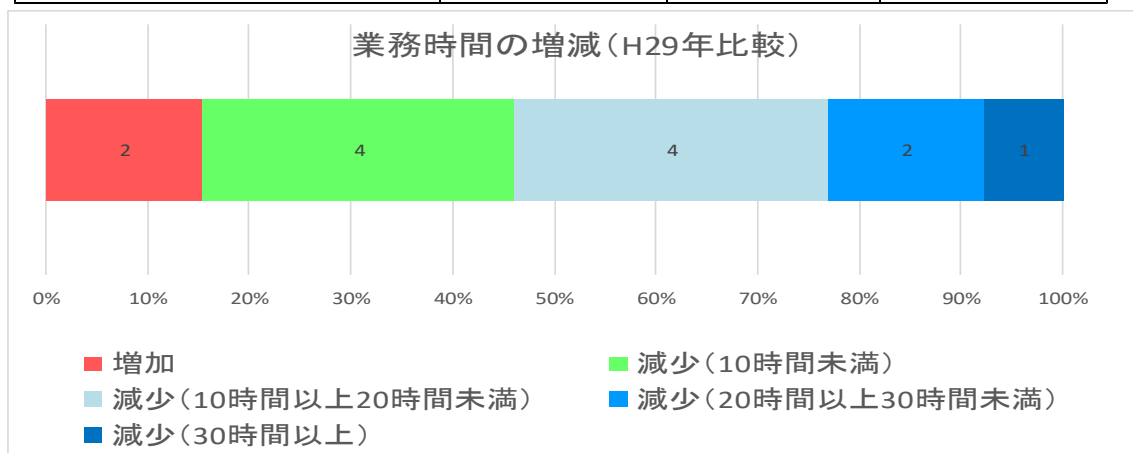


＜業務改善に係るアンケート＞

平成30年9月の業務時間は、平成29年度と比較して以下のようになっています。

学校全体では、今年度になって5時間減少（平均値）で推移していましたが、9月は昨年比10時間以上減少（平均値）しています。その要因を明らかにすることは、今後の業務改善にもつながると考えています。そこで、以下のアンケートに回答ください。

	平成29年9月	平成30年9月	増減
業務超過時間平均値	61.0 時間	50.4 時間	－ 10.6 時間
中央値	67.4 時間	55.0 時間	－ 12.4 時間
業務超過時間 80 時間超過人数	4 人	2 人	－ 2 人
業務超過時間 100 時間超え人数	1 人	0 人	－ 1 人



①昨年度に比べ、あなたの業務超過時間が減った（増えた）要因は何だと思いますか。

- ・「定時に帰ろう」、「勤務時間の中で仕事をしよう」という意識があったからだと思う。
- ・業務改善の意識が高まった。（使命感）
- ・早く帰る意識が高まった。
- ・学級通信を作る頻度を減らした。
- ・慣れてきた業務が増えた。
- ・土・日の部活指導がなくなった。
- ・秋季総体が無くなった。
- ・部活動の時間に他の仕事をしたから。
- ・教材研究の時間を減らした。
- ・部活の時間が減った。
- ・授業の準備をする時間が減ったように思う。
- ・体育祭の練習が昨年ほど大変ではなかったように思う。
- ・平日の夕刻に習いごとをするようにしたので、仕事が残っていると思っても、思い切って切り上げるようになったから。
- ・やるべきこと（やらなければならないこと）の優先順位をつけてできていると思う。
- ・お願いすることは声をかけて一緒にやったりする。
- ・持ち帰って仕事をしなくなった。（見切りをつけるようになった）
- ・かえるボード、留守番電話の導入
- ・生徒指導の減少
- ・立場が変わったから

②昨年度に比べ、学校全体で業務超過時間が減った要因は何だと思われますか。

- ・かえるボードで、帰る時間、帰りたい時間を意識できているからだと思います。
- ・かえるボードを使って全員の帰宅時間が見えることで自分の作業を効率よくさせ早めにかえろうとする気持ちが行動に出ているのでは。
- ・かえるボードによる意識の変化 ・人が入れ替わった（長時間勤務の方）（２）
- ・長時間作業されていた先生方が転勤された。 ・教員の異動によるところも多い。

H29,30 の両方勤務している人だけで平均を出すと H29 は 60.25 時間、H30 は 48 時間

この結果から見ると、転勤者の異動はあまり関係ない。というより、いる人だけで考えると、12 時間以上削減されており、減少時間数が多い。

- ・早く帰りやすい雰囲気生まれた。 ・早く帰ろうという意識になってきた。
- ・いろいろな取組から職員の目的意識が明確になり、やらなくてはという意識が高まった。
- ・みんなが帰るから。 ・早く退庁することに、少し抵抗がなくなった。
- ・みんな少しずつ早く帰るようになり、かえりやすくなった。
- ・行事の変更（市秋季総体） ・生徒指導の減少 ・効率よくできるようになった。
- ・かえるボードによる意識の変化 ・留守番電話によるクレーム処理の減少

③業務時間の削減につながった（効果的であった）と思われる取組は何ですか。その理由もあわせてお答えください。

- ・かえるボード（３） ・退庁時刻の意思表示 ・部活動時間の削減
- ・全体の雰囲気 ・管理職の声かけ ・かえる会議
- ・かえる通信 ・Web 会議 ・行事の精選
- ・簡易清掃によって業務に充てられる時間が増えたため。
- ・研修等で働き方改革の意識や目的を理解したこと。
- ・最も遅くまで残業している人が大きな要因になり、「あの人もいるなら」残業につながると思う。最大値の数値が下がったこと、かえるボード、留守番電話が大きいと思う。

④水曜日の簡易清掃の取組は、定時退庁の促進につながっていますか？

- ・つながっていると思う。（３）
- ・先生方にとってはつながっていると思います。
- ・生徒の下校がより早くなったので、関係している。
- ・定時とは行かないが、他の曜日より早く帰っていると思う。
- ・自分はいつも定時に帰っているので、変化はない。
- ・5 短プラス簡易清掃にすれば、もっと効果的になるかもしれない。
- ・つながっているが、アフタースクールがあると変わらない気がする。
- ・専門委員会やアフタースクール、大会前の部活動など、結局生徒が残っているので促進にはつながっていない。
- ・あまりよくわからない。